

# 世界農業遺産 シンポジウム

—海女漁の文化的価値を考える—

輪島の海女による伝統的素潜り漁技術は

将来にわたって引き継ぐべき文化的価値を有し、

世界農業遺産の重要な構成資産でもあります。

この海女漁について広く県民の方々に

理解を深めていただき、

今後さらなる継承・振興につなげます。

2014年

日時

7月26日(土)

午後1時30分～4時

会場

能登空港

ターミナルビル4階

入場無料

「定員150名」

参加者募集

主催／世界農業遺産活用実行委員会

(石川県七尾市・輪島市・珠洲市・羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町・穴水町・能登町及び関係団体)



# 世界農業遺産シンポジウム

Globally Important Agricultural Heritage Systems (GIAHS)

2014年 **7月26日(土)** 13:30~16:00

プログラム

13:30 開会挨拶

13:35 調査報告

「能登輪島・海女文化の位置づけ」

講師: **小林 忠雄氏** (北陸大学未来創造学部国際教養学科教授/博士(文学))



主な経歴

1945年石川県白山市(旧松任町)生まれ。早稲田大学大学院文学研究科芸術学専攻特殊学生終了。国立歴史民俗博物館民俗研究部助教授、北陸大学教育能力開発センター教授を経て2005年から現職。石川県学術資料調査研究委員会委員(金沢部会・世界遺産推進室)、日本民俗学会評議員。主な著書に(共著)『能登一寄り伸と海の付』、(監修・執筆)『日本人の暮らし—20世紀生活博物館—』、その他記録映画制作監督作品に『奥能登のあえのこと—稲霊祭祀の記録—』などがある。

14:05 基調講演

「海女のユネスコ世界無形文化遺産登録に向けて」

講師: **石原 義剛氏** (海の博物館館長)



主な経歴

1937年三重県生まれ。1960年早稲田大学文学部卒業。1971年海の博物館を創設。準備期間を経て、開館。1973年館長就任、現在に至る。『海女』文化をユネスコ世界無形文化遺産に登録する運動を進めている。また海の環境を守るSOS運動を続けている。海女振興協議会(三重県)会長も務める。

14:50 休憩

15:00 パネルディスカッション

「海女漁の魅力と未来への思い」

輪島の海女漁の魅力を紹介するとともに、石川県無形民俗文化財にも指定された海女漁の今後の継承・振興について意見交換をします。

コーディネーター

パネリスト



上智大学大学院  
教授

あん・まくだなるど氏



輪島の海女漁保存振興会  
理事

青地 春江氏



輪島の海女漁保存振興会  
理事

早瀬 千春氏



石川県漁業協同組合輪島支所  
流通対策課長

石井 至氏



海の博物館  
館長

石原 義剛氏

16:00 閉会

※都合によりプログラム内容が、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

入場無料

## 参加者募集

[ 定員150名 ]

お申し込み方法

氏名(団体でお申し込みの場合は、団体名と代表者名)、電話番号、参加人数を明記して、はがき、FAX、電子メール、または電話にてお申し込みください。

- FAXの場合は下記の「FAX用申込書」をご利用ください。
- 電子メールの場合は、タイトルを「世界農業遺産シンポジウム申込」としてください。

先着順とし、定員に達した場合は締め切らせていただきます。予めご了承ください。

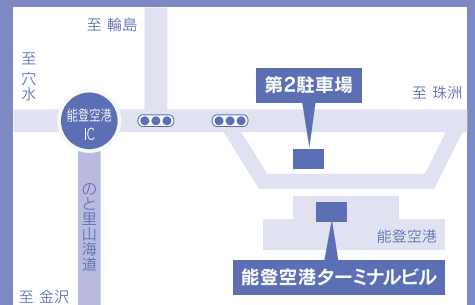
お申し込み締切  
[当日必着]

## 7月22日(火)

会場

### 能登空港ターミナルビル 4階

〒929-2372 石川県輪島市三井町洲衛10-11-1



※車でお越しの方は、第2駐車場をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ

世界農業遺産活用実行委員会事務局

(石川県農林水産部里山振興室内)

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1

tel.076-225-1648

fax.076-225-1618

e-mail satoyama@pref.ishikawa.lg.jp

電話受付時間  
平日9:00~17:00

シンポジウム会場でアンケートにお答えいただいた方には、

## 「舢倉島の塩」をプレゼント!



低温でゆっくり結晶化  
だから大粒で旨い!

## FAX用申込書 FAX.076-225-1618

※お申し込みされた方の個人情報は、今回の催し以外に使用することはありません。

個人 団体  いずれかに ○を付けてください	お名前 団体の場合は 代表者名	フリガナ	TEL ( ) -
	団体名		参加希望人数 名